

いくつもの時を

その瞳は見つめた

森よ 今あなたは

どこに

パプーシヤの 黒い瞳

PAPUSZA

CAST: JOWITA BUĐNIK, ZBIGNIEW WALERYŚ, ANTONI PAWLICKI
MUSIC BY: ANNA NOBEL-NOBIELSKA COSTUME DESIGNER: BARBARA SIKORSKA-BOUFFAL
EDITED BY: KRZYSZTOF SZPETMAŃSKI PSM EXECUTIVE PRODUCERS: ANNA WUNDERLICH
SCREENPLAY: MATEUSZ ADAMCZYK, JAROSŁAW BAJDOWSKI,
SEBASTIAN WITKOWSKI MUSIC BY: JAN KANTY PAWLUŚKIEWICZ
DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY: KRZYSZTOF PTAK PSC, WOJCIECH STAROŃ PSC
PRODUCED BY: LAMBROS ZIOTAS EXECUTIVE PRODUCERS: NEW EUROPE FILM SALES
PRODUCTION DESIGNER: BEATA OSMEŁAK-KILIAN EDITOR: JOANNA KOS-KRAUZE & KRZYSZTOF KRAUZE © ARGOMEDIA Sp. z o.o. TVP SA CANAL • Studio Filmowe KADR 2017

MOVIOLA 15th Anniversary

監督・脚本: ヨアンナ・コス=クラウゼ / クシシュトフ・クラウゼ

ポーランド映画 | 2013年 | ロマニ語&ポーランド語 | モノクロ | 1:1.85 | 5.1ch | 131分 | DCP 配給: ムヴィオラ

美しきモノクローム。

心ふるえる音楽。

歴史上初めての

ジプシー女性詩人を描いた

ポーランド映画の傑作。



- 2013 カロヴァ・ヴァリ国際映画祭 スペシャル・メンション
- 2013 バリャドリッド国際映画祭 監督賞・男優賞・青年審査員賞
- 2013 テサロニキ国際映画祭 観客賞
- 2014 イスタンブール国際映画祭 審査員特別賞
- 2014 ポーランド映画賞 楽曲賞・撮影賞・美術賞

パプーシャの詩より

すべてのジプシーよ
私のもとへおいで
走つておいで
大きな焚き火が輝く森へ

すべてのシーンが
光と影の絵画のような傑作。

——ハリウッド・リポーター

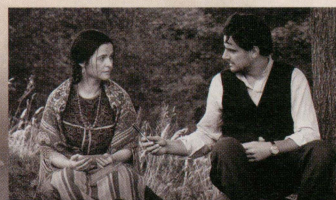
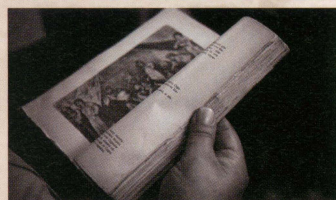
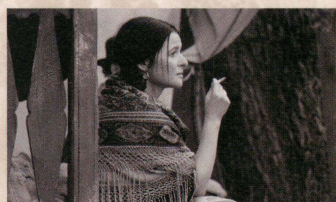
言葉を愛したがゆえに、一族の禁忌を破った女性がいた。

書き文字を持たないジプシーの一族に生まれながら、幼い頃から、文字に惹かれ、言葉を愛し、こころの翼を広げ、詩を詠んだ少女がいた。プロニスワヴァ・ヴァイス(1910-1987)、愛称は“パプーシャ”。ジプシーの言葉で“人形”という意味だ。彼女は成長し、やがてジプシー女性として初めての「詩人」となる。しかし、その天賦の才能は彼らの社会において様々な波紋を呼び、その人生を大きく変えることになった……。

激動のポーランド現代史と、実在したジプシー女性詩人パプーシャの生涯。年の離れたジプシー演奏家との結婚、彼女の才能を発見した詩人イェジ・フィツォフスキとの出会いと別れ、古くから伝わるジプシーの秘密を外部にさらしたと彼らの社会を追放されたこと……。『パプーシャの黒い瞳』は一人のジプシー女性の物語であり、同時に第二次大戦前後にジプシーたちが直面した史実を伝える。それはまた、20世紀から21世紀へ、世界が何を不得何を失ったのかを私たちに問いかけている。

美しいモノクローム映像と心ふるえる音楽で描かれたポーランド映画の傑作!

監督は、グディニャ・ポーランド映画賞グランプリに輝いた『借金』(99)、『救世主広場』(06)などで知られるポーランドの名匠クシシュトフ・クラウゼと、その妻ヨアンナ・コス＝クラウゼ。戦前からナチスの時代、そして戦後ポーランドの誕生と、半世紀を越えるいくつもの時代を再現したモノクロームの映像は驚くほどに美しい。ことに大勢のジプシーが馬車で移動する姿を捉えたロングショットの素晴らしさは言葉に表せない。また冒頭のオペラ曲“パプーシャのハーブ”に始まり、心沸き立つジプシーミュージックなど全編を彩る音楽の魅力も圧倒的である。



監督・脚本:ヨアンナ・コス＝クラウゼ、クシシュトフ・クラウゼ(『借金』『救世主広場』『ニキフォル 知られざる天才画家の肖像』) 撮影:クシシュトフ・フタク、ヴォイチェフ・スタロン
音楽:セン・カンティ・ハヴルジキエヴィチ キャスト:ヨヴィタ・ブドニク(パプーシャ)、ズビグニェフ・ヴァレシシ(ディオニス)、アントニ・パヴリツキ(イェジ・フィツォフスキ)
ポーランド映画 2013年 ロマン語&ポーランド語 | モノクロ | 1:1.85 | 5.1ch | DCP | 131分 字幕翻訳:松岡葉子 字幕協力:水谷暁、鳥井摩利
後援:ポーランド広報文化センター 配給:ムヴィオラ MOVIOLA
© ARGOMEDIA Sp. z o.o. TVP S.A. CANAL+ Studio Filmowe KADR 2013

●本作では時代のおよび地域の背景を考慮し、「ジプシー」という呼称を使用しています。
●クシシュトフ・クラウゼ監督は2014年12月24日に永眠。享年61歳。本作が遺作となりました。

www.moviola.jp/papusza/

パプーシャの 黒い瞳

4月4日|土|よりロードショー 5/22(金)まで
特別鑑賞券 ¥1,500 好評発売中!(税込/当日一般¥1,800、シニア・学生¥1,500のところ)

●特別鑑賞券の岩波ホールでの販売は4/3(金)まで

上映時間	月~土 4/29~5/6	11:00	13:45	16:30	19:00
(自由席・整理券制・入替制)	日曜	11:00	13:45	16:30	

岩波ホール

03(3262)5252

<http://www.iwanami-hall.com/>

●地下鉄(都営三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線)神保町駅A6出口すぐ上
●JR(中央線)水道橋駅または御茶ノ水駅・下車徒歩12分 ●神保町交差点角